2024 年度（春スタート・１年）
University of Guelph

Y. I.　英語英文学科・3年次生

I.　留学レポート

① 協定留学を目指した理由

留学を志した理由は、自身が大学の授業や課外活動で得た英語力を実際に活用・向上させる場所が欲しかったからです。大学内での授業はオールイングリッシュのものもありますが、学生が日本人のため咄嗟の時に日本語で話してしまいがちです。そういった環境が嫌で自分の「英語を向上させるには実際に現地に行くしかないと考え、留学を志望しました。

② 留学を目指してから出願までの語学学習方法

IELTS と大学から配られていた単語帳を勉強していました。

③ 留学決定から出発までの準備期間にしたこと

◆ 語学学習法

IELTS の勉強

◆ ビザ申請方法

代行を手配するか悩みましたが、自分でやる方が早いと感じました。

④ 現地到着後

◆ 空港から滞在先までの移動手段、所要時間

CHN（Canada Homestay Network：ホームステイのエージェント）の空港送迎を利用しました。１時間ほどかかりました。

◆ 現地でのオリエンテーション期間中にしたこと

ビザ配布が遅れたためオリエンテーション期間には間に合いませんでした。

◆ その他必要な諸手続き方法

CHN（Canada Homestay Network：ホームステイのエージェント）の支払いは送られてくる URL から銀行送金かカードが選べました。

⑤ 語学研修期間

◆ 語学研修先の施設・環境について

大学内の小さめの教室を使っていました。大学の学期間外のため校内のカフェなどは営業していませんでしたが、学食やボバショップなどは空いていました。

◆ 授業内容、課題、試験

リーディング、リスニング、ライティングに分かれていました。先生によって内容は違いま

すが、ライティング以外はプレゼンテーションが 1、2 個あります。毎週課題が出され、試験もパソコンを使うのでパソコンの操作に慣れていない学生達は大変そうでした。

⑥ 正規科目履修期間

◆ 大学の施設・環境について

正規科目履修期間になると大学内の施設が学生達で満杯になり、自習もままならなくなります。特に図書館はかなり大きいはずですが、スペースがなくなります。ELP（English Language Program）期間に大学内の自習スペースを見つけておいた方が後々行き場所に困りません。

◆ 履修科目について

・FRHD1100 Health and Well-Being

オンラインの授業でFRHD1010の補助的なクラスとして受けました。自主学習がメインで、毎週教科書を読んでクイズを受けます。自身の生活を評価するレポートを前期と後期二回に分けて提出しました。時折、掲示板に自身の意見を書いて他学生と交流するアクテビティもありました。

・FRHD1010 Human Development

対面の授業で 100 名を超える学生が受けていました。人体や精神の発達を学びましたが、先生の喋るスピードがものすごく早くて聞き取ることに苦労しました。また授業時間が午後７時から３時間程度続き、精神的にも身体的にも疲れました。私は同志社女子大で似た授業を受講していたので内容についての知識がありましたが、同じく受講していた日本人の友人は戸惑っていたので注意が必要です。

・ENGL1030 Effective Writing

オンラインの授業でレポートの書き方が ELP の授業だけでは不安だったので受講しました。グループに分けられ、オンライン掲示板で課題について意見を出し合ったり返信したりしました。内容は難しくなく、留学生がたくさんとっている授業というイメージでした。

・LING1000 Introduction to Linguistics

対面の授業で週 3 回ありました。月・水・金で金曜日はオンラインでした。この授業は最初に自己紹介がありそこで友人を作りました。各国の文字や文法、発音について学びました。課題自体は意外と多く、また提出期限も早めに出せばさらに加点される形式でした。

⑦ クラブ、課外活動、ボランティア活動

一度だけ Korean Culture　Club に参加しました。

⑧ 現地での住まいについて

◆ 語学研修期間

ホームステイで一人部屋でした。スペイン人、フランス人、また他のホームステイ先から移動してきた日本人の子達と生活していた時期がありました。部屋は個室でトイレとシャワーは共同で使っていました。食事はホストファミリーが基本的に作ってくれていました。冷蔵庫の中身を勝手に使っていいと言われたのでよく日本食を作っていました。大学へは徒歩＋バスで４５分かけて通学していました。最寄りのバス停が Guelph Central Station で基本的に利便性が良かったです。

◆ 正規科目履修期間

ホームステイ先は変えませんでした。この時期になると他の留学生達は来ず、ホストマザーと二人暮らしでした。

⑨長期休暇の過ごし方

旅行に行きました。アメリカにも安い値段で行けるので北米中心に旅行しました。

⑩ 留学期間中の就職活動の取り組み

ボストンキャリアフォーラムに参加しました。

II. 留学の感想

① 留学中で楽しかったこと、最も思い出に残っていること

休暇中に ELP でできた韓国人の友人とニューヨークに行ったことです。約１週間滞在しました。初めて家族なしに英語圏で旅行したので挑戦でした。

② 留学中でつらかったこと、最も苦労したこと

日本のお米が恋しかったです。

③ 文化・習慣の違いなどで驚いたこと

チップによってお会計の計算が狂うことが多くて苦労しました。

III. 留学希望者へのアドバイス

① 留学先大学の良かった点、悪かった点

留学生や他の国から来ている学生が多かったです。大学はとても広く、設備も充実していたので毎日居残っていた日もありました。私は参加していませんがオリエンテーション期間には現地生と交流する時間もあったそうです。悪い点は日本人が多すぎたということです。ちょうど同志社のグローバルコミュニケーションコースの学生が 15 名ほど来ていました。

また関西学院や関西外国語大学の生徒などが ELP 期間に留学しに来ていました。

② 日本から持っていって、特に役に立ったもの

パソコンは必須でした。メモや教科書も全てパソコンに入れていました。友人達はタブレットを使っており、書き込みがしやすいため便利そうでした。生活面では日本のふりかけやインスタントのスープなど日本食が恋しくなった時に食べていました。また日本のコスメはお気に入りのものがあれば予備を持っていくことをお勧めします。

③ 語学力の向上等、留学の成果、留学前と後で変わったこと

英語を話すことへのためらいが減ったと思います。バスの中で話しかけてくれた人と友達になり、日本では絶対にしなかったことを体験できました。その結果自身の性格も少し明るく、強くなった気がします。

④ これから留学をしようと思っている後輩へのアドバイス

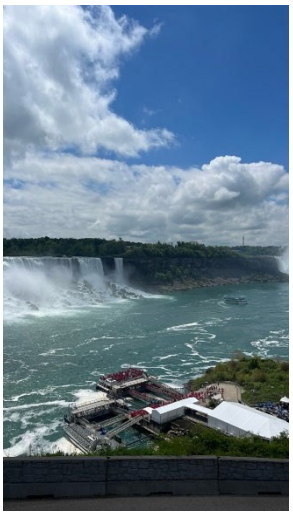
最初は全く違う環境に怯えて正直日本に帰りたいとばかり思っていましたが、時間が過ぎるとともに自然と生活に慣れていきました。カナダは多文化主義が根付いている国です。いろんなバックグラウンドを持った人たちと接する機会が増えます。自分が外国人として生活することはなかなかない経験でした。よく日本の文化について聞かれるので自分で日本に関する知識を集めておくことが大事です。

Ⅳ. 将来の目標

今後の進路、将来の目標・夢

明確な夢はまだありませんが英語を使った仕事に就きたいです。

Ⅴ. 写真



ナイアガラの滝です。語学学校が用意している任意のアクティビティに参加しました。格安なので友達を誘っていくべし！

2024 年度（春スタート・１年）
University of Guelph

トロントタワーに友達と行きました。ゲルフからトロントはバスで２時間半、電車で１時間と近いです。この日は語学学校期間が終わる直前で、先に日本に帰る友人との思い出を作りました。

正規課程前の休み期間に友人とニューヨークに行きました。ホームアローンやゴッシップガールの舞台になった場所に行き聖地巡礼をしました！

2024 年度（春スタート・１年）
University of Guelph

正規課程が始まって最初のオリエンテーション週間の際に中庭で映画上映が行われました。映画は新入生に合わせて Monsters Inc の University 編でした！

正規課程が終わったご褒美に友人達と Yellowknife に行きました。2024 年はオーロラが綺麗に見える年らしく、なかなか見れないオーロラ爆発も見れました。